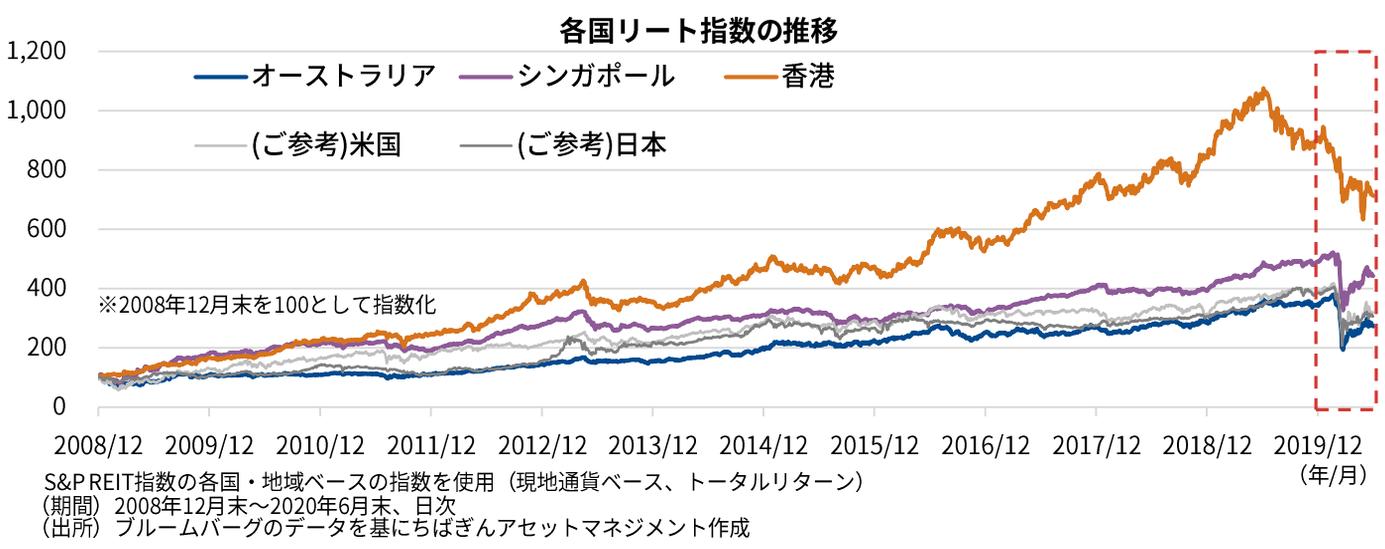


## 臨時レポート FOCUS ON AUSTRALIA & ASIA

### オーストラリア・アジアリートの投資環境

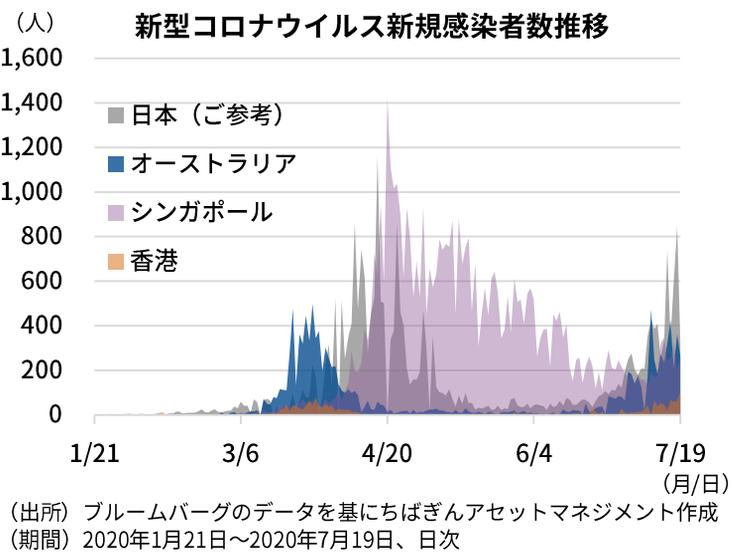
#### 年初来のリート指数の推移

- 2020年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気悪化懸念が高まり、リート市場はオーストラリア、香港、シンガポールともに下落しました。
- オーストラリアリート、シンガポールリートは経済活動再開期待などを受け回復傾向にあります。香港リートは、昨年から続く民主化デモに続き、コロナショック、国家安全維持法を巡る政情不安が追い打ちをかけた下落幅が大きくなっています。



#### 新型コロナウイルスの感染拡大と経済見通し

- オーストラリア、香港では一旦は新型コロナウイルス感染者の抑え込みに成功したものの、足元では感染者が増加傾向にあります。シンガポールでは7月19日時点で累積感染者数が約4万8,000人と多くなっているものの、足元感染者数は減少傾向となっています。
- IMF (国際通貨基金) が発表した世界経済見通しによれば、オーストラリア、シンガポール、香港ともに2020年はマイナス成長が予想されています。



#### IMF世界経済見通し (単位: %)

	予測			
	2018年	2019年	2020年	2021年
世界	3.6	2.9	▲ 4.9	5.4
オーストラリア	2.8	1.8	▲ 4.5	4.0
シンガポール	3.4	0.7	▲ 3.5	3.0
香港	2.9	▲ 1.2	▲ 4.8	3.9
米国	2.9	2.3	▲ 8.0	4.5
日本	0.3	0.7	▲ 5.8	2.4

(出所) IMF (国際通貨基金)、世界、オーストラリア、米国、日本については「World Economic Outlook Update, June 2020」シンガポール、香港は「World Economic Outlook Database, April 2020」を基にちばぎんアセットマネジメント作成

■当資料は、投資者の皆様にご「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

香港情勢



国家安全維持法の施行で注目される「香港リスク」について、どのように見ているのか、今後の運用方針に影響があるのか、ポートフォリオマネージャーに聞いてみました。

ポートフォリオマネージャーはこう見る！

香港への投資比率については維持する予定

- 香港への投資比率について、6月末時点の水準から大きく変更することは今のところ考えていません。
- 香港市場についての、長期的な見通しは前向きですが、短期的に見れば、国家安全維持法の施行に伴い、海外からの批判や制裁などの決定を受けて、市場の変動が高まる可能性があるため、現時点では香港の投資比率を大きく増やす予定はありません。

国家安全維持法は企業の経済活動の足かせになる内容ではない

- 香港で、6月末に施行された国家安全維持法は、反逆や扇動、破壊行為、外国勢力との結託などを禁止する内容に留まりました。
- 香港でビジネスをする上で重要な法の支配は残り、企業の経済活動の足かせとなる内容ではありませんでした。
- 香港の司法制度が守られるのであれば、企業、国際社会にとって1つの安心材料になるとみられます。5月以降デモの規模は縮小してきており、Google社集計のモビリティデータによると、生活必需品を扱うモールを中心に客足が戻ってきています。

デモ減少で中国企業が香港に進出しやすく

- 昨年のデモ以降、本土企業が香港デモ参加者の標的となっていたことから、本土企業は香港への進出や営業活動を自粛していましたが、国家安全維持法の制定でデモが減少すれば、本土企業は香港に進出しやすくなり、米国などの外資系企業が香港から離れたとしても、本土企業がその穴埋めになると予想しています。

グレーターベイエリアとは・・・

グレーターベイエリアとは中国広東省の9つの都市と香港およびマカオの2つの特別行政区から構成される都市圏。中国政府は「グレーターベイエリアを世界クラスのベイエリアと渡り合える経済規模に築き上げ、2030年までにGDP規模で東京・ニューヨークを上回る世界一のベイエリアにする」との目標を掲げている。

香港は海外資金へのゲートウェイ

- 香港金融市場は本土市場にあるような資本規制がないため、本土企業にとって香港は海外資金へのゲートウェイとなっています。
- また、本土企業とビジネスをしたい外国企業（例えば欧州企業）にとって、香港経由が最もビジネスを行ないやすい状況です。金融市場に関して言えば、本土企業が発行する米国預託証券（ADR）の上場廃止という懸念が浮上していますが、重複上場を望む企業は香港市場での上場を検討する可能性もあるとみています。

グレーターベイエリア経済圏の成長は続く

- グレーターベイエリア経済圏の成長に伴ない、同経済圏及び中国本土とビジネスをしたい外国企業が一層増えると考えられます（米中貿易摩擦が悪化し米国企業とのビジネスが減っても、欧州、アセアン諸国は中国との取引を望むと予想されます）。
- そのような外国企業とのビジネスを本土企業が行なう場合は、まず、窓口として香港に拠点を構える必要が生じます（米ドルを調達したい場合は香港取引所経由になり、そうするためには香港住所が必要となります）。
- また、香港が国際金融センターとしてノウハウを蓄積していることから、海外企業とビジネスする際に生じる金融（資金調達）プロセスや法律に精通した金融機関、監査法人、法律事務所などがあるため、事業規模を拡大していく際には、深センなど本土での対応には限界が生じると考えられます。



(出所)© OpenStreetMap contributors

上記は、当ファンドの主な投資対象である、「オーストラリアリートマザーファンド」および「アジアリートマザーファンド」の運用を行う日興アセットマネジメントアジアリミテッドからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

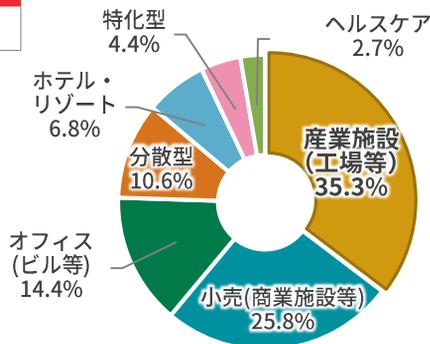
■当資料は、投資者の皆様にごオーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## シンガポールのリート市場

### デジタル化が追い風 シンガポールの産業施設リート

- アジアの貿易、金融の拠点であるシンガポールのリート市場では、当局が高付加価値産業の誘致を進めていることなどから、産業施設の比率が高くなっています。
- 産業施設に含まれるリートには、例えば、Eコマースの拡大で需要が増加している倉庫などの物流施設や、IT社会の基盤であるデータセンターなども含まれます。また、シンガポールには複数のビジネスパークやサイエンスパークが存在し、世界の研究者や技術者らが集まっています。

#### シンガポールリートのセクター構成比



(基準日) 2020年6月末

(出所) ブルームバーグのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

#### デジタル化が追い風となる産業施設リート

##### デジタル化

Eコマースの拡大

膨大なデータの保護

技術やシステムの開発

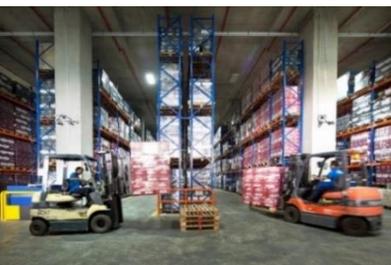
倉庫など物流施設

データセンター

ビジネスパーク

- ◆シンガポールでは地震などの災害が少ないこともデータセンター等の設置場所として選ばれやすい要因となっています

### 主要なシンガポール産業リートと保有物件例



#### メイプルツリー・ロジスティクス・トラスト

シンガポール中心に、日本、オーストラリア等、アジア太平洋地域に物流施設不動産を保有。

##### ◀ 物流施設

メイプルツリー ベノイ ロジスティクス ハブ  
大型車両も乗り入れ可能な5階建ての物流施設。  
(出所) Mapletree Logistics Trust

時価総額 約5,706億円  
分配金利回り 4.2%

#### メイプルツリー・インダストリアル・トラスト

ハイテクビルやビジネスパークビル、データセンターなどの工業用不動産を保有。

時価総額 約4,884億円  
分配金利回り 4.0%

##### ▶ データセンター

メイプルツリーサンビュー1  
総床面積が約242,000平方フィートの6階建て  
データセンター  
(出所) Mapletree Industrial Trust



#### アセンダス・リート

ビジネス&サイエンスパーク、ハイテク施設、物流センターなど、190を超える物件を保有。

##### ◀ ビジネスパーク

ワン@チャンギシティ  
チャンギ国際空港からほど近いビジネス&サイエンス  
パークの一角。  
(出所) Ascendas Reit

時価総額 約8,872億円  
分配金利回り 2.2%



(基準日) 2020年6月末

(出所) ブルームバーグのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

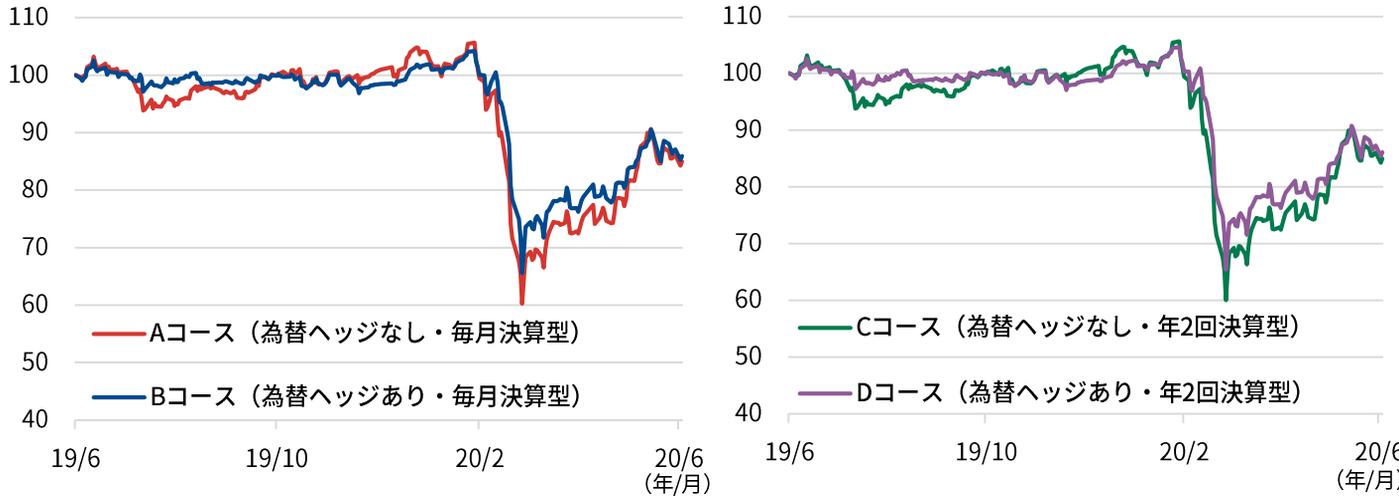
※時価総額は1シンガポールドル=77.31円で円換算。※上記物件を保有する銘柄、個別企業等についてはあくまでもご参考として記載しており、売買等を推奨するものではありません。また、弊社ファンドにおける保有の有無、将来の組み入れ等を示唆するものではありません。  
※各リートより許可を得た写真を掲載しており、無断転用は禁止されています。

■当資料は、投資者の皆様にご「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)  
Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

パフォーマンス

基準価額の推移 (2019年6月末~2020年6月末)



※2019年6月末の基準価額を100として指数化しています。  
※基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

年間騰落率

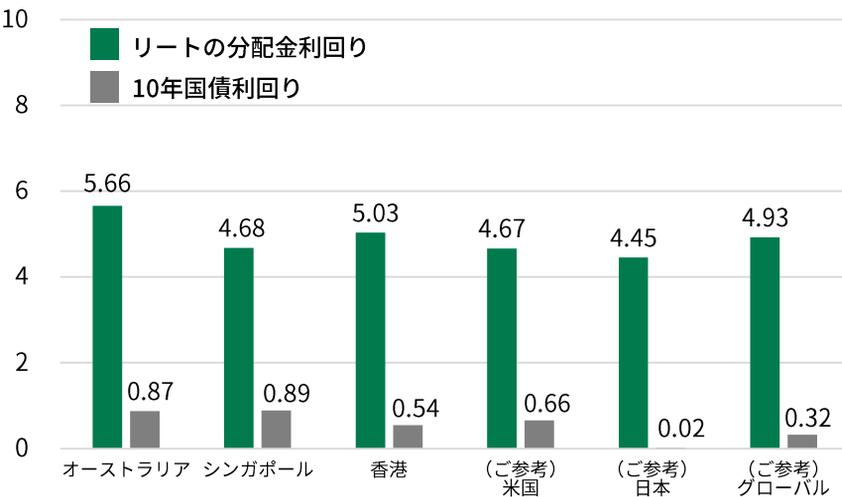
Aコース	Bコース	Cコース	Dコース
-15.0%	-14.1%	-15.0%	-13.9%

※騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

市場動向

リート分配金利回りと国債利回り

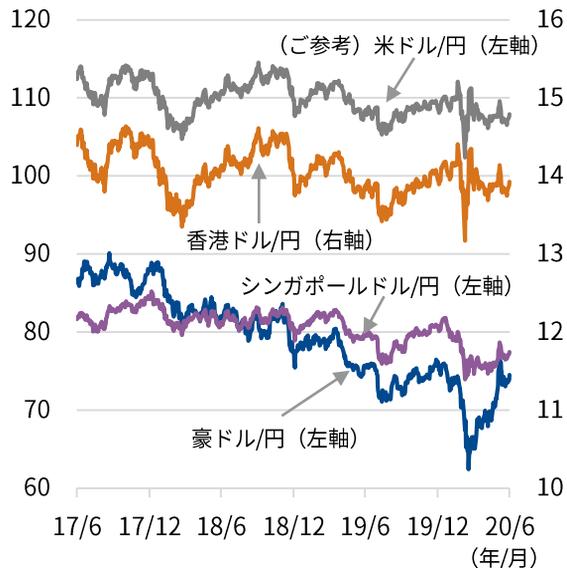


(基準日) 2020年6月末

※リートの分配金利回りはS&P REIT指数の各国・地域ベースの指数を使用  
※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。

(出所) ブルームバーグのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

為替推移



(期間) 2017年6月末~2020年6月末

■当資料は、投資者の皆様にご「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオマネージャーより

### オーストラリア・アジアのリートの今後の見通し



新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりオーストラリア、アジア経済は一時的に減速すると予想されます。しかし、オーストラリア、シンガポール、香港の政府は大規模な経済支援策を決定しており、個人への現金給付のほか、企業には、失業者、倒産を可能な限り抑えることを目的とした人件費補助や一時的な減税などの支援を行っていることから、行動制限解除後、緩やかながらも従来の成長路線に回帰するとみています。

リスク要因としては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済への影響に不透明感が残ることや、米中貿易摩擦、米大統領選挙が挙げられます。また、注目が集まっている香港国家安全維持法の施行については、長期的には、中国本土との結びつきが強まることによる、香港経済の押し上げ効果が期待できますが、短期的には、海外からの批判や制裁などの決定を受けて、市場の変動が高まる可能性があるため、香港のリートについては、慎重にみており、投資比率は引き続き低い水準を維持しています(2020年6月末現在約18%\*)。

\*実質的な投資対象である「アジアリートマザーファンド」の資産状況で、純資産総額比です。

今後も、世界経済の動向や米中摩擦、香港情勢などを見極め、柔軟な銘柄選別を行って参ります。

以下では、地域別にご説明いたします。

#### オーストラリア



- オーストラリアでは、米国や中国のネット通販大手のオーストラリアへの本格進出などを受け成長基調にあったeコマース市場が、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに一段と拡大しています。これを受け、物流施設の需要が引き続き高いことから、産業施設セクターを有望と考えています。
- オフィスセクターについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で新オフィス建設に遅れが出ていることから新規供給は限定されるとみています。一方、雇用維持のための賃金補助金によって失業率の大幅上昇は回避されたことから、オフィス需要の大幅な減少はみられていません。ただし、オーストラリアの住宅はシンガポールや香港など他国に比べて広いため、テレワークの普及が進めば、オフィス需要に影響が出かねず、テレワークの普及度合いについても注視しています。
- 住宅価格に関しては、新型コロナウイルスの拡大を受けて足元で下落しているものの、失業手当、児童手当、賃金補助金のような政府による経済支援や、今年に入り実施された合計0.5%の利下げにより、今後の下落幅は限定的なものに留まると考えます。従って、住宅を取り扱うリートは安定的に推移すると予想しています。
- なお、政府は6月に、低所得者を対象に住宅建設または改装への助成金制度を発表しているほか、財務省も住宅ローンを含むローン支払い滞納者が出た場合の対応について大手銀行と協議するなど、住宅市場をサポートする政府の強い意思が見受けられます。
- 小売セクターについては、強気にみてはいません。ただし足元で、新型コロナウイルスの感染拡大を受け自宅の改装がブームとなっていることから、大型ホームセンターをテナントとする物件を保有する銘柄を選好しています。

上記は、当ファンドの主な投資対象である、「オーストラリアリートマザーファンド」および「アジアリートマザーファンド」の運用を行う日興アセットマネジメントアジアリミテッドからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

■当資料は、投資者の皆様にご「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオマネージャーより

### オーストラリア・アジアのリートの今後の見通し



#### シンガポール



- シンガポールでは、失業者数を最小限に抑えるため、政府による一部給与負担やフリーランスへの給付金などの経済支援策が導入されています。また、外出制限などの影響を受けて売上が減少し、賃料の支払いが難しい小売店舗などについては、支払いの一部免除や先延ばしなどの支援も行われています。
- 足元では、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少を受け、企業の職場を閉鎖するなどの厳しい外出制限は解除されており、飲食店の店内飲食や小売店の営業も認められるなど、経済活動の再開が進んでいます。
- なお、小売店の賃料支払いが困難になったことを受け、MAS(シンガポール金融庁)は、リートの分配金やレバレッジ比率などに関する規制の一時的な緩和策を導入するなど、賃料収入の減少などを受けたリートの資金管理の負担軽減を図っています。
- 注目分野としては、データセンターが挙げられます。今後、生活活動のオンライン化や5Gの導入、IoTの普及などで個人のデータ使用量が増えるほか、企業、政府のデータ保存ニーズの高まりを背景にクラウドサービスの採用が加速するとみられ、構造的な成長分野であると考えられます。また、新型コロナウイルスの拡大でIT環境強化の重要性が明確となったことも、データセンターのニーズを一段と高めると予想しています。

#### 香港



- 中国が導入を決めた香港国家安全維持法案に反対するデモや米国などからの対抗措置等を受け、投資家のセンチメントが再び悪化したことから、香港リートをやや慎重にみています。
- しかし、同法の施行により、今後、大規模なデモが減少するとみられることに加え、同法への反発から、米国が香港優遇措置の廃止を表明した後も、香港からの目立った資本流出は起きておらず、金融市場への影響は限定的であるとみられること、昨年から続いた下落により、香港のリートは割安感が強まっていることなどから、市況動向に注意を払いながら、ウェイトの引き上げを検討しています。
- デモや新型コロナウイルスの世界的な流行は、香港のセントラル地域のオフィスやホテルを保有するリートの重石となっていることから、郊外にある生活密着型のモールを保有し、時価総額が大きく流動性の高い、比較的ディフェンシブなリートを中心に投資を行う方針です。
- 中長期的には、香港における土地の供給不足(賃料に上昇圧力がかかりやすい)や、グレーターベイエリア構想による中国本土と香港のアクセスの改善など前向きな材料が多くあることから、香港リートの潜在的な成長力は高いと考えています。

上記は、当ファンドの主な投資対象である、「オーストラリアリートマザーファンド」および「アジアリートマザーファンド」の運用を行う日興アセットマネジメントアジアリミテッドからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメント株式会社が作成した資料に基づき、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものです。



■当資料は、投資者の皆様にご「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



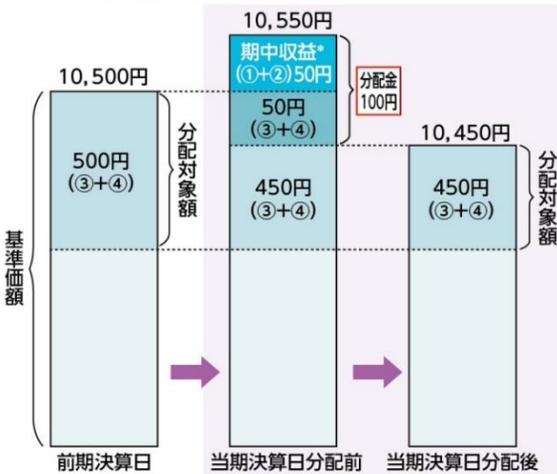
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配金分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

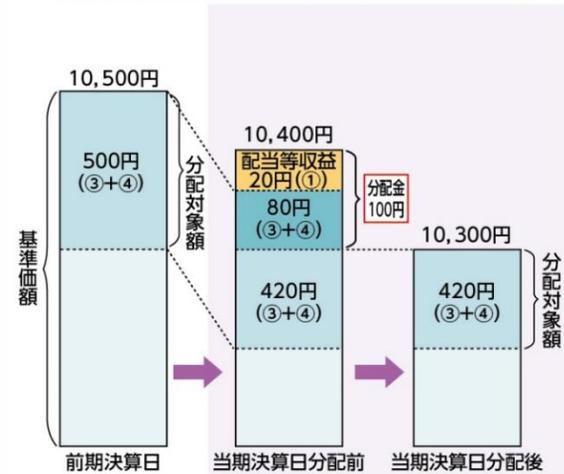
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金(当該計算期間よりも前に累積した配当等収益および売買益)④収益調整金(信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分)です。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

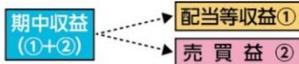
前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合



\*上図の期中収益は以下の2項目で構成されています。

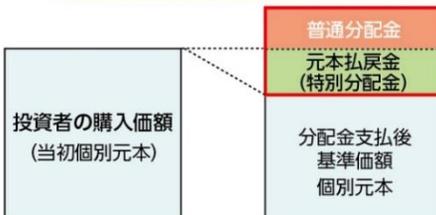


※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

上記のとおり、分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の安全性を追求される投資者の場合には、市場の変動等に伴う組み入れ資産の価値の減少だけでなく、収益分配の支払いによる元本の払い戻しにより、本ファンドの基準価額が減価することに十分ご注意ください。

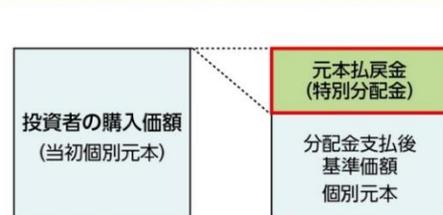
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の基準価額の値上がりだが、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払い戻しに相当することがあります。元本の一部払い戻しに該当する部分は、元本払戻金(特別分配金)として非課税の扱いになります。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(特別分配金)

## ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆様**の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様**に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

**リートの価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク、株価変動リスク**

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

### 【その他の留意点】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

## お申込みメモ

信託期間	無期限(2017年2月1日設定)
決算日	<Aコース、Bコース> 毎月14日(休業日の場合は翌営業日) <Cコース、Dコース> 毎年4月14日および10月14日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※分配金再投資コースの場合は、税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
換金制限	大口の換金には制限を行う場合があります。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
購入・換金申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。(休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。) ・シンガポール証券取引所の休業日 ・香港証券取引所の休業日 ・オーストラリア証券取引所の休業日およびシドニーの銀行休業日
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

## ファンドの費用

### ▼お客様が直接的にご負担いただく費用

【購入時】 購入時手数料	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に <b>3.30%(税抜3.0%)を上限</b> として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
【換金時】 信託財産留保額	<b>ありません。</b>

### ▼お客様が間接的にご負担いただく費用

【保有期間中】 実質的な運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対して <b>年率1.738%程度(税抜1.58%程度)</b> 当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用(年率1.133%(税抜1.03%))に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用(年率0.605%程度(税抜0.55%程度))を加えた、お客様が実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入状況により変動します。
【保有期間中】 その他の費用・手数料	有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等をその都度、監査費用は日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動する等の理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。

■当資料は、投資者の皆様にごオーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

愛称: AAフォーカスリート

Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型)  
Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)

## 委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社：ちばぎんアセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]  
 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第443号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
 ホームページ：<http://www.chibagin-am.co.jp/>  
 サポートダイヤル：03-5638-1451 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社：三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)  
 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社：下記の【販売会社一覧】をご覧ください。[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

## 販売会社一覧

商号等	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
株式会社東邦銀行 ※	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○		
とうほう証券株式会社 ※	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○		

※オーストラリア・アジアREITファンド Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型)のみの取扱いです。

## 【ご留意事項】

- 当資料はちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

■当資料は、投資者の皆様にご「オーストラリア・アジアREITファンド(愛称:AAフォーカスリート) Aコース(為替ヘッジなし・毎月決算型) / Bコース(為替ヘッジあり・毎月決算型) / Cコース(為替ヘッジなし・年2回決算型) / Dコース(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。